

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あじさい「小杖」

目標達成計画

作成日: 令和 4年 2月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	ご利用者個々の過ごし方や心身状態や有する力等の現状の把握不足	ご利用者個々に役割や楽しみを持った生活を過ごしていただける。	①職員がご利用者の担当を持ち、担当職員による情報の収集 ②具体的な支援の実施 ③アセスメント ④「①から④」の流れを各フロア計画作成担当と行き、家族へ報告、ケアプランへ反映	12ヶ月
2	6	「身体拘束」や「不適切ケア」そして「虐待」の知識や乏しい職員がいる。	すべての職員が「身体拘束」及び「不適切ケア」と「虐待」について知識を持ち、どのようにしたらそのようにならないかを考えられる。	①あじさい基礎研修「虐待」の全職員受講 ②ユニット会議など定期的な会議の場で事例検討 ③身体拘束「0」会議への参加と議事録の回覧	12ヶ月
3	35	災害時の地域との協力体制が出来ていない。	災害時に地域に頼られ、頼れる施設になる。	①防災訓練時に評議員様に参加いただくことで、施設の実情を知っていただく。 ②地域の防災訓練へ見学でもよいので参加することで、地域に高齢者施設があることを地域の方々に知っていただく。 ③駄菓子屋や施設行事を通して、地域の方々に施設を見ていただく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。